

■ 当院での大腸カプセル内視鏡の手順

※消化管狭窄などが検査前に疑われる場合は、検査することができません。

① 検査前日（② 大腸カプセル内視鏡の手順）

- ① 検査用の低残渣食または消化の良いものを摂取して下さい。
- ② 便秘がある方は、3 日前より下剤内服と消化に良いものを食べて下さい。
- ③ 夜 8 時までには食事をして下さい。
- ④ 寝るまでは、お水やお茶、透明なスポーツ飲料水は飲んでも構いません。
- ⑤ 就寝前に下剤を飲んでもらいます。

② 検査当日

- ① 検査まで食事はしないでください。お水の摂取なら構いません。
- ② 検査開始 4 時間前から下剤内服(ニフレック 2L)して下さい。
- ③ 予約時間に来院し記録装置を腹部に装着してもらいます。
- ④ 適量の水とカプセル内視鏡を飲み込んでもらいます。
- ⑤ 検査中は激しい運動や極端に腰を曲げるようなことはしないでください。
- ⑥ 強力な磁場である MRI や電磁波の強い変電所などには近づかないでください。
- ⑦ 近くであれば一時帰宅されても構いません。
- ⑧ カプセルが小腸に到達したら、記録装置のブザーが鳴ります。
- ⑨ 再来院してもらい小腸にカプセルが到達していることを確認したら、ひまし油(下剤)を飲んでもらいます。その後のお水の飲水は可能です。
- ⑩ 記録装置から再度ブザーが鳴ったら再度ニフレック 2L を飲み始めてもらいます。
- ⑪ 約 5~6 時間で大腸カプセルが肛門から排泄されたら終了です。
- ⑫ カプセルが排出されない場合は、翌日まで記録装置を装着してください。
- ⑬ その後に検査装置を当院で回収しますので来院してください。
- ⑭ 肛門からカプセルを排泄したら、専用のキットで回収して当院まで持参してください。
(カプセルの再利用はしておりません。当院で破棄します。)